

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
グループダイナミックス	3年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	五十嵐透子
授 業 概 要					
<p>“看護”は、1対1のケアのみならず、集団を対象に展開することもある。またその実践においては組織内外のさまざまな職種あるいは対象集団との協働が不可欠である。</p> <p>本講義では、これらの基礎となる“グループ”に関する理解を臨床心理学の視点から深め、効果的なグループ活動の実践ならびにグループ内での自己理解と変容を教授する。</p> <p>なお、“グループ・ダイナミックス”の効果的活用におけるリーダーの役割やあり方とメンバーの積極的参加に関しては、小グループでの活動を通して体験的学習を含める。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グループに関するさまざまな要因と理論を理解し、グループ活動を効果的に進める基礎を習得する</li> <li>2. 看護学におけるさまざまなグループとチームの活動を理解する</li> <li>3. 効果的なグループ活動をグループ・メンバーやリーダーとして体験し、自己理解を深める</li> </ol>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	“看護”領域におけるさまざまなグループ				五十嵐透子
2	バイオ・サイコ・ソーシャル・モデルとシステム論				
3	グループの種類とリーダー				
4	グループの機能と発達				
5	心理教育				
6	グループ・リーダーシップ				
7	グループ・メンバー個人の変化とグループ全体の変化				
8	まとめ				
学 習 方 法					
主として講義を行い、付随的に体験的学習法を用いる。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 講義ごとのミニ・レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 ヘルスケア・ワーカーのためのこころのエネルギーを高める対人関係情動論 “わかる”から“できる”へ 五十嵐透子 医歯薬出版  他、配布資料					